

参考資料

平成30年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
病 院 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【病院事業会計】

区分	平成30年度	平成29年度	伸び率
予算総額	65,672,455千円	68,000,797千円	△3.4%
収益的支出	60,392,368千円	60,401,218千円	△0.0%
資本的支出	5,280,087千円	7,599,579千円	△30.5%

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 県立病院の医療機能強化

P 1 AIを活用したがんゲノム医療の推進

30,906

がんゲノム医療推進事業費

担当 経営管理課 経営企画担当
内線 5984

1 目的

近年、個人のゲノム情報（DNAに含まれる遺伝の情報）に基づき、個人ごとの違いを考慮したがんゲノム医療への期待が高まっている。また、国において、ビッグデータやAIを活用したがんゲノム医療提供体制の整備が推進されているところである。

県立病院においても、このがんゲノム医療提供体制へ参加することにより、個々のがん患者へのがん治療の最適化を図り、より有効で安全ながん医療を早期に県民に提供することを目的とする。

2 事業内容

(1) がんゲノム医療の体制整備（予算額 7,906千円）

がんセンター及び小児医療センターにおいて、がんゲノム医療提供体制における「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けるためのISO認定の取得やデータ保存用サーバーの整備等を行う。

(2) 先進医療の実施（予算額 23,000千円）

厚生労働省が指定する「がんゲノム医療中核拠点病院」と連携して、先進医療としてがんゲノム医療を実施する。

3 予算額 30,906千円

【がんゲノム医療のイメージ】

